

1. 組織

大型放射光施設SPring-8、X線自由電子レーザー施設SACLAは、施設者である国立研究開発法人理化学研究所と、「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律」に基づく登録施設利用促進機関である公益財団法人高輝度光科学研究センターによって、2016年度は運営された。

本)、フロンティアソフトマター開発専用ビームライン産学連合体(1本)、国立大学法人東京大学(1本)、国立大学法人京都大学(1本)及び国立大学法人電気通信大学(1本)が、SPring-8に設置している専用ビームライン(計19本)を利用して、様々な放射光利用研究を実施した。

1. 国立研究開発法人理化学研究所

理研 放射光科学研究推進室

特定放射光施設(SPring-8/SACLA)の施設者として、施設の整備、運転・維持管理等及び利用者への放射光・X線自由電子レーザー(以下、XFEL)の提供に責任を果たすとともに、放射光及びXFELを利用した新しい領域を開拓するための研究や、常に最善の放射光・XFELを発生・供給するための技術開発等を実施した。

2. 公益財団法人高輝度光科学研究センター

特定放射光施設の利用促進業務を行う登録施設利用促進機関として、利用者の選定や、利用者に対する情報支援・技術支援等の利用支援に係る業務を実施した。

3. 専用ビームライン設置者

国立大学法人大阪大学蛋白質研究所(1本)、国立大学法人大阪大学核物理研究センター(2本)、産業用専用ビームライン建設利用共同体(2本)、兵庫県(2本)、国立研究開発法人物質・材料研究機構(1本)、台湾・財団法人國家同步輻射研究中心(2本)、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(2本)、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構(2本)、株式会社豊田中央研究所(1